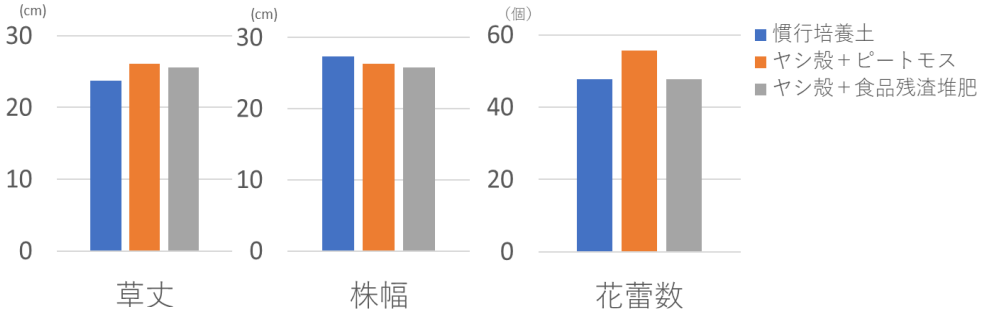
焼却が可能な鉢土による カーネーションとカランコエの鉢花栽培

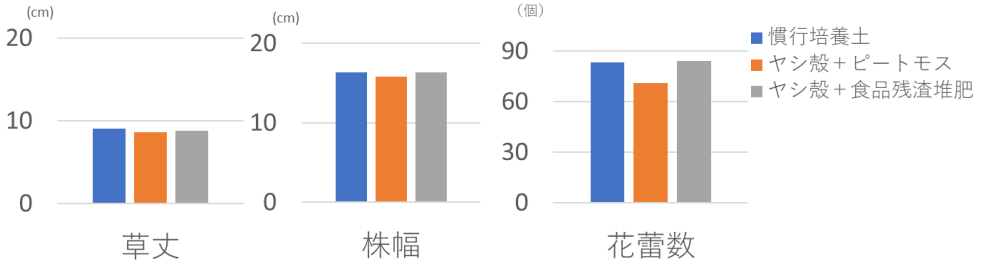
鉢花は鉱物を含む鉢土が広く用いられています。しかし、鉱物をごみとして回収しない自治体が多く、観賞後の鉢土を処分できないために鉢花の購入を避ける原因にもなっています。

そこで、カーネーションとカランコエの鉢花を、ヤシ殻繊維にピートモスや食品残渣堆肥を配合（体積比 4:1）した焼却可能な鉢土で栽培した結果、慣行で用いられている赤土主体の鉢土（赤土、腐葉土、ピートモス、パーライトを体積比 4:3:2:1 で配合）と同等な生育を示し、鉢花栽培に利用できることを確認しました。

カーネーション



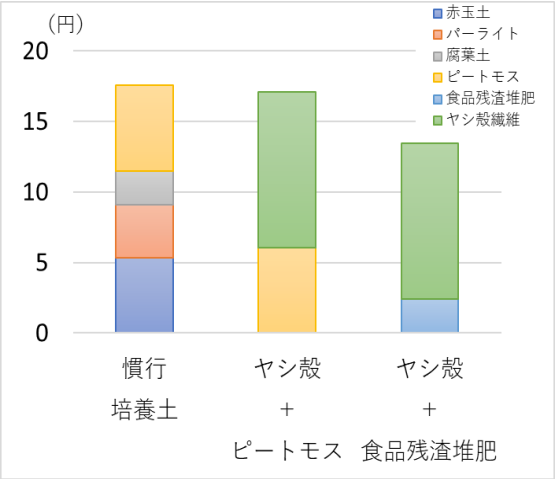
カランコエ



焼却可能な鉢土で栽培しても、慣行の鉢土と同等な生育になります。

慣行培養土　ヤシ殻＋ピートモス　ヤシ殻＋食品残渣堆肥

焼却可能な鉢土で栽培した開花時のカランコエ



焼却可能な培土は、慣行の鉢土（17.6 円/L，令和 6 年 7 月時点）と同額以下の価格となります

（施設園芸先端技術担当　TEL 048-536-0311）